

EPGでらくらく録画。しかも画質はDVD並み!

テレビキャプチャーユニット 購入ガイド

現在のデスクトップパソコンは、テレビ受信やビデオ機能を備えるものが増えてきている。しかし、そのような機能を持たないパソコンでも、テレビキャプチャーユニット製品を加えることで、テレビ/ビデオ機能をアドオンできる。

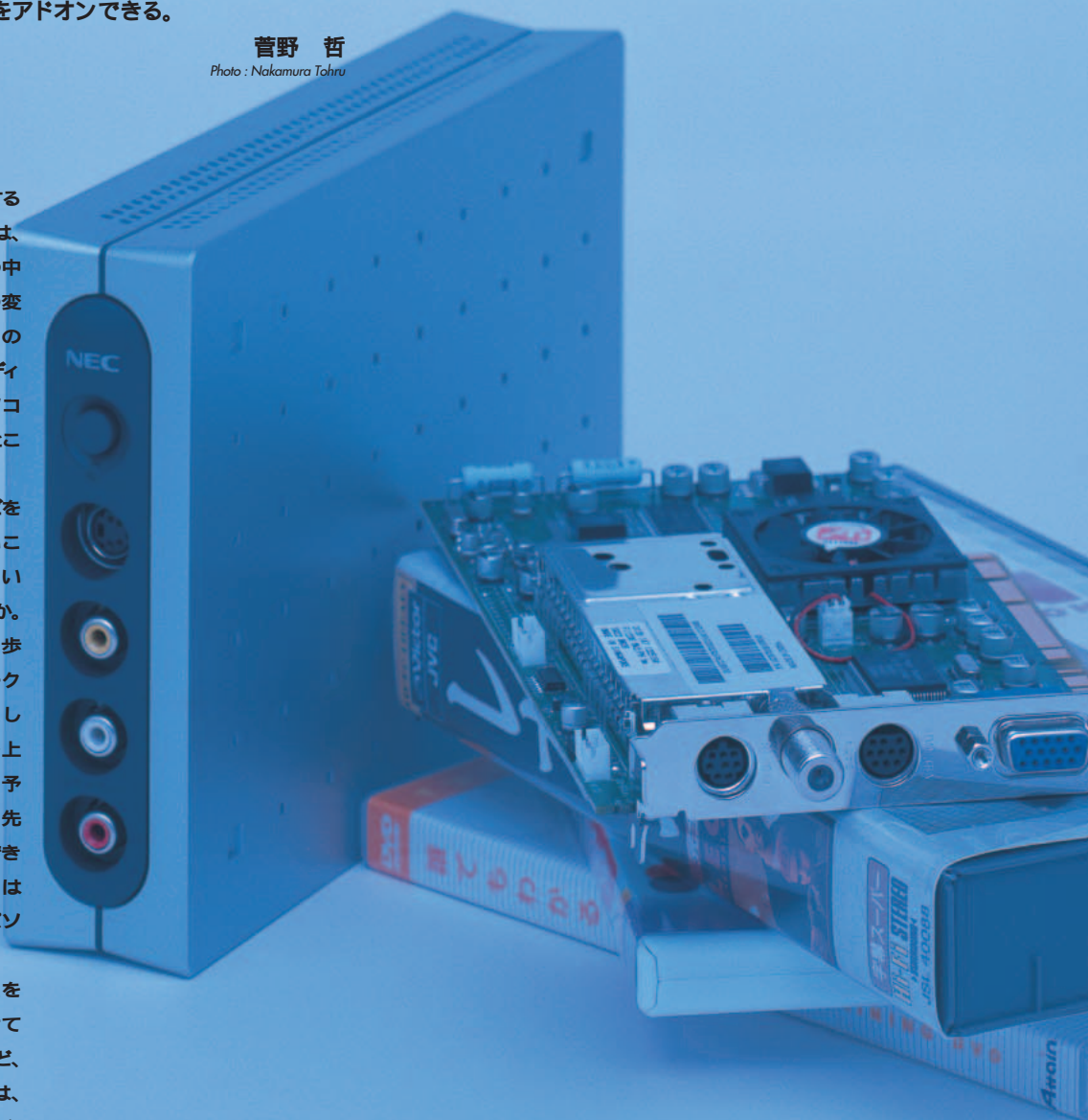
菅野 哲

Photo: Nakamura Tohru

テレビ/ビデオ機能を付加する周辺機器が増えてきた背景には、パソコンがさまざまなメディアの中心として機能するという役割の変化に加え、CPUやハードディスクの高速化、メモリー容量、ハードディスク容量の増大といった、パソコンのハードウェアの進化によるところも大きい。

これまでは、パソコンでテレビを録画すると、映像の品質が悪いことなどから購入を先送りしていた方も多いのではないだろうか。しかし、近年ハードウェアの進歩により画質は向上し、ネットワークと連携した付加サービスも充実してきた。たとえば、インターネット上の番組表との連動による録画予約や、携帯電話を利用して外出先から予約し忘れた番組を録画できるサービスなどもある。これらは家庭用テレビではできない、パソコンならではの機能だ。

さらに、放送されている番組を一時停止して、後から追いかけて再生する「タイムシフト再生」など、テレビキャプチャーユニットは、これからの新しいテレビ視聴スタイルも提案する。





普通のテレビにはない便利な機能を実現

大画面で高画質のテレビが安価で売られている現在、あえてパソコンでテレビを見ることの実用性とメリットを紹介しよう。

テレビキャプチャーユニット 登場の背景

ハードディスク録画機能を持つテレビキャプチャーユニットは、データサイズの大きな動画をリアルタイムで書き込めるハードディスクと、テレビ放送を瞬時にエンコード、デコードするCPU性能を必要とする。数年前までの一般的なパソコンではまったく能力不足だったが、近年のパソコンの高性能化により、テレビキャプチャーユニットのテレビ受信や録画映像が、品質的にも現実的なものとなってきた。

テレビキャプチャーユニット本体も、実売価格が1万円台のものからあり、パソコンの周辺機器としては、かなり価格がこなれてきている。誰でも安心して買える製品になったと言えるだろう。

テレビキャプチャー製品のメリット

あえてテレビキャプチャーユニットを利用し、パソコンのモニター上でテレビを見るメリットとして、まず挙げられるのは録画予約の簡単さだ。インターネットの番組表と連動して、録画したい番組をクリックするだけで録画予約が完了する機能(EPG予約機能)は、一度使えば便利さを実感できる。

さらに「タイムシフト機能」も非常に便利だ。これは、現在放送されている番組を一時停止して、その後は一時停止していた時間分だけ遅れてその番組を見ることができる機能だ。たとえば番組放送中に電話がかかってきた時などに威力を発揮する(右図参照)。

録画がハードディスクであるという点も見逃せない。ビデオテープへの録画は、録画/再生を繰り返すと映像の品質が劣化するし、カセットの保管場所も必要だ。しかしハードディスクにデータとして録画すれば、録画/再生を何度繰り返しても劣化しないだけでなく、ビデオ編集ソフトで映像の加工もできる。また、ビデオテープの映像をパソコンのハードディスクにバックアップする

ことももちろん可能だ(ただし、市販の映画ソフトなど、コピーガードがかかっているものは不可)。

現時点では録画予約システムをインターネットと連携して利用できるものは少ないが、すでにiモードを利用して外出先から録画予約ができる機種もある。iモードのテレビ番組表と連動しているため、うっかり予約をし忘れても、番組を確認して録画予約ができる。

気になる映像の品質は?

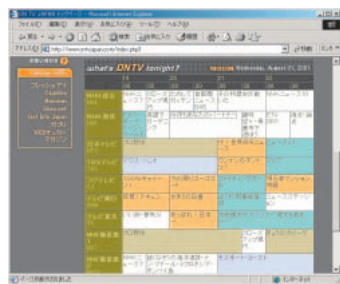
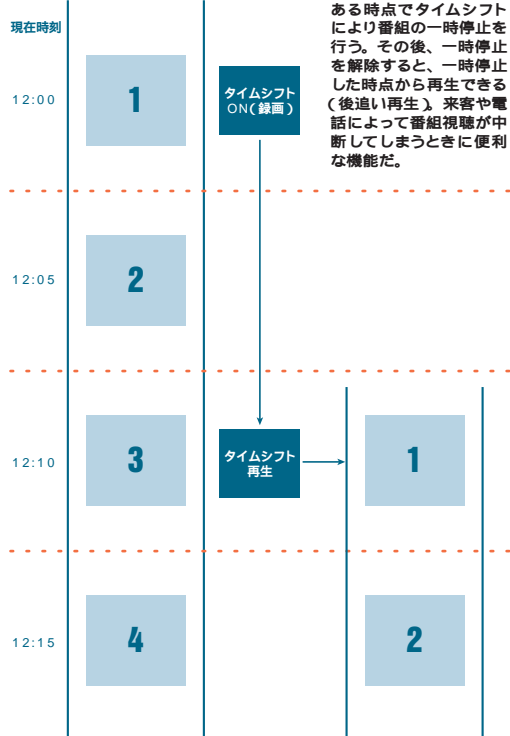
使い勝手がよいのは前述のとおりだが、では映像の品質はどの程度なのだろうか。それぞれの製品によって異なるが、放送のリアルタイム視聴では、多くの製品がテレビと同等の画質で楽しめるだろう。録画の品質についても、リアルタイム受信の品質

とほぼ同じレベルだ。VHSのビデオテープに録画した場合と比べると、その品質に関してはテレビキャプチャーユニットが勝っている。

なお、パソコンのモニターでテレビ番組を見ると違和感を覚えることがある。これは解像度の違いが原因のようだ。テレビの解像度をパソコンに換算すると640×480ドット程度なのに対して、パソコンのモニターの解像度は、最近では1024×768ドット以上が一般的だ。しかもパソコンのモニターは、本来細かな文字をクッキリ表示するようになっていて、一般のテレビの見え方とは異なるため、やむをえないだろう。もっとも、しばらく見ていけば慣れてくる。

ただし、25インチや30インチなど「大画面で見たい!」という場合は、パソコンのモニターでは対応できない。

タイムシフト機能のイメージ図



EPGに対応したテレビ番組紹介サイト「ON TV Japan」。予約の方法は、見たい番組の紹介を表示させ「EPG」ボタンをクリックするだけで簡単。
www.ontv-japan.com

Product Showcase



テレビキャプチャーユニット、選択のポイント

テレビキャプチャーユニットには、パソコン内蔵のカードタイプや、USB接続のボックスタイプなど、いくつかのバリエーションがある。パソコンなどの環境やニーズに合った製品を選ぶ際の参考にしてほしい。

カード内蔵型とUSB接続の外付け型

現在、テレビキャプチャーユニットとして出回っている製品には、USB接続による外付けタイプとパソコン内部に設置するタイプがある。USB接続の機器は設置や接続も簡単だし、ノートパソコンでも利用できる。一方、パソコン内部に設置するカードタイプは、PCIスロットやAGPスロットに挿入するため、パソコン本体のケースを開けて設置する必要がある。

ノートパソコンのユーザーや、パソコン初心者でケースを開けたくない場合は、USBタイプがいいだろう。しかし、パソコン内部のスロットに接続するタイプとUSB接続のタイプを比べた場合、同じソフトを利用している製品でも、USB接続のものはカーソルの移動にタイムラグが生じるなど、動作がやや鈍い。一般に、USB接続の機器は通信を行うためにCPUへの負荷が大きいと言われるが、テレビキャプチャーユニットもその影響を受けるようだ。

エンコードの方式

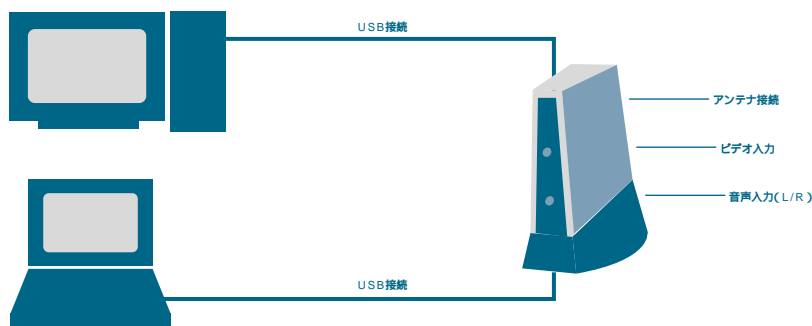
テレビの映像をそのままハードディスクに記録すると1秒間に約26Mバイト(640ドット×480ドット×3バイト(24bitカラー)×30フレーム)のデータ量が必要になる。最近の大容量で高速なハードディスクでも、これだけのデータ量を書き込むのは難しい。そこでデータを圧縮(エンコード)してからハードディスクに書き込むのだが、その圧縮方式はMPEG-2が事実上の標準となっている。

MPEG-2はDVDビデオでも利用されている圧縮方式として知られており録画映像の品質は、デジタルハイビジョンテレビ並みだ。したがって、十分なハードウェアのスペックがあれば、テレビ放送をそのままの品質で録画可能となる。今回取り上げた製品の中には、録画映像の品質が放送とほとんど区別がつかないものもあった。

また、MPEG-1とMPEG-2が同時採用さ



カードタイプはデスクトップパソコンのみに対応



USB接続タイプはデスクトップパソコン、ノートパソコン両方に対応

テレビキャプチャーユニットには、PCスロットやAGPスロットに装着するカード型と、USB接続するボックス型がある。これらには、アンテナ端子、ビデオ入力端子、音声入力端子などが備わっている。

れている製品もある。MPEG-1はMPEG-2より圧縮率は高いが、画質がVHSのビデオテープ程度になってしまふ。ハードディスクの容量が少ない場合などには有効だが、画質のを考えれば、あえて利用する機会は少ないだろう。

テレビキャプチャーユニットでは、価格が高くなるがエンコード専用のチップを内蔵してハードウェアでエンコードするものと、価格は抑えられるがソフトウェアでエンコードするものがある。パソコンのスペックに余裕はないが高品質の映像を見たい、録画したいという場合は、ハードウェアエンコードの製品を選択しよう。

付属ソフトのチェック

テレビキャプチャーユニットを利用して、パソコンでテレビを見たり録画したりするためには、専用のソフトが必要になる。そのほかにもビデオ編集ソフトなどが付属してい

る製品も多い。これらのソフトは、メーカーや製品のオリジナルの場合と、「WinDVR」のような汎用ソフトの場合がある。

テレビキャプチャーユニットという製品の性質上、ハードウェア主体で機種を選ぶことになるが、ソフトウェアも使い勝手を左右する重要なポイントだ。今回この点についても一覧表に取り上げたので、ぜひ購入の参考にしてほしい。

録画予約機能のサポート

前のページでも述べたEPG予約機能がサポートされているかどうかも確認したい。この機能がサポートされていない製品は意外と多い。普段から録画予約をよく使うことが多いのなら、この機能をサポートした製品を選ぼう。なお、iモードからの録画予約は、NECかアイ・オー・データ機器の製品でしかサポートされていない(カノープスは今後対応予定)。



映像の品質にこだわるならハイスペックPCを!

テレビキャプチャーユニットの本来持っている性能を十分に発揮させるには、十分なパソコンのスペックが要求される。動作が保証されている最低限のスペックでは、快適に利用できるとは言い難い。実際には、どの程度のスペックが必要なのだろうか?

高速なCPU

テレビキャプチャーユニットが要求する平均的なハードウェアのスペックは右のとおりだ。この数字は、とりえず動作が保証されているスペックであり、ハードウェアに負荷がかかる録画やタイムシフトを行った場合、実際には、このスペックではまったく足りない。

たとえばカノプスなどは、録画時の解像度別に要求スペックを公開しているが、MTV1000の場合、最大解像度での録画ではペンティアム III 866MHz以上のCPUが必要とされている。最大解像度での録画を行わないにしても、録画やタイムシフトを利用したい場合は、700MHz程度のCPUは必要であると思われる。

最低でもUltra ATA66が必要

ハードディスクに関しては、短時間で大量の書き込みを行うため、容量だけでなくアクセス速度も重要だ。カノプスのように、録画やタイムシフトを行う場合は、Ultra ATA 66以上のハードディスクを推奨しているメーカーもある。CPUは十分なのに、録画の品質が十分でない場合、ハードディスクのアクセスが遅いことも原因と考えられる。その場合は、Ultra ATA 66やUltra ATA 100用のインターフェイスカードと対応ハードディスクの増設を行えば問題が解決されるはずだ。

エンコードの種類で見極める

映像のエンコード方法には、専用のチップを使ってハードウェアで行うものと、専用チップを持たずにソフトウェアで行うものがある。USB接続タイプや一部のカードタイプでは、ハードウェアエンコードが採用されている。しかし、USB接続では通信に負担がかかるため、動作がぎこちなくなることもある。これらを考慮すると、デスクトップパソコンのスペックに余裕がない場合は、パソコン自身に負荷の少ないハードウェアエンコードを採用したカードタイプの製品を選びたい。

カード型(PCIまたはAGPスロットに接続)

CPU	セレロン400MHz、またはペンティアム III 400MHz以上
メモリー	128Mバイト以上
グラフィックアクセラレーター	800 x 600 ドット以上、ハイカラー以上
ハードディスク	Ultra ATA 33以上

USB接続型

CPU	セレロン350MHz、またはペンティアムII 350MHz以上
メモリー	64Mバイト以上
グラフィックアクセラレーター	800 x 600 ドット以上、ハイカラー以上
ハードディスク	Ultra ATA 33以上

テレビキャプチャーユニットの動作保証がなされている平均的なパソコンのスペック
これらのスペックは、あくまで「動作が保証される」ものである。十分な品質の映像で録画したり、操作を快適にしたりするには、CPUは800MHz以上、ハードディスクの仕様はUltra ATA 66以上が必要だろう。

ハードウェアを強化するならば?

テレビキャプチャーユニットを快適に活用するためには、ある程度のスペックを持つパソコンが必要なのは分かっていたと思う。そのうえで、パソコンのどの部分を強化すればよいのだろうか。

まず、映像品質の向上を図るなら、グラフィックカードを強化したい。テレビキャプチャーユニットによる映像表示はオーバーレイ表示になっている。そのためオーバーレイ表示能力の優れたグラフィックカードに替えることで、映像の品質が向上する。

また、全体的なレスポンスの向上は、CPUとハードディスクの強化が効果的だ。これによりソフトの起動や起動後の初期処理などが高速化されるほか、タイムシフトが機能するまでの時間も短縮される。

ちなみに、メモリーは推奨スペックを満たしていれば、増設してもあまり効果はないようだ。

OSは何がいい?

ウィンドウズ Meとウィンドウズ2000を比べた場合、完全なマルチタスクを行っているウィンドウズ2000の方が動作が快適になると思われるが、今回の試用では、はっきりとした結果を出せなかった。そこで、メーカー(NEC)に確認したところ、同社の製

品の場合は、特に相違はないとのことだった。また、NTFSかFAT32かというハードディスクのフォーマット形式もあまり影響はないようだ。

気になる疑問をメーカーに直撃!

USB接続とPCI接続の両方のテレビキャプチャーユニットをリリースしているNEC パーソナルソリューション事業部に、いくつかの質問に答えていただいた。

Q: USB接続タイプ(ハードウェアエンコード)でテレビ放送を見たところ、PCI接続タイプ(ソフトウェアエンコード)に比べてコマ落ちが目立つように感じます。原因は何でしょうか?
A: PCの環境や性能によって、その感覚は異なりますが、通常はUSBタイプの方が処理が軽く、コマ落ちしにくいと考えられます。一方、PCIタイプは、MPEG-2エンコードエンジンが条件が悪くても、コマ落ちが目立たないように配慮されています。USBは転送速度がPCIに比べて遅く、PCIと同等の補完ができないためコマ落ちのように見えることも考えられます。

Q: USBタイプはPCIタイプに比べてかなり動作が重いようです。原因としては何でしょうか?
A: 操作感につきましては、USBによる接続のため若干のタイムラグは否めません。また、タイムシフトを行わない場合はエンコード作業もありませんので、PCIタイプの方がCPUに負荷がかからず、軽快に動作します。



テレビキャプチャーユニット主要製品ガイド

画質を重視するならば、インストールに手間はかかるが、パソコン内部のスロット(PCIスロットまたはAGPスロット)に挿入するタイプがおすすめだ。逆に、気軽にテレビ放送を楽しみたいユーザーやノートパソコンユーザーにはUSB接続タイプが向いている。

各テレビキャプチャーユニットをテストするにあたって用いたパソコンは、CPUはセレロン 733MHz、メモリーは256MB、ハードディスク仕様はUltra ATA 66のものを使った。現在のパソコンの1世代ほど前の平均的なスペックと言える。

製品紹介にあります画面は、すべてハメコミです。

映像の品質で選ぶならこの製品

カノープス **MTV1000**

今回取り上げたテレビキャプチャーユニットのなかで、画質に関しては、ほかを圧倒した製品だ。高画質であるため、CPUへの負担も大きいかと思われたが、PCIバス直付けでハードウェアによるエンコードを行っているためか、テレビ放送の視聴中はもちろん、録画中でも、パソコン全体のレスポンス低下は目立たなかったし、実際にCPUの占有率も低かった。

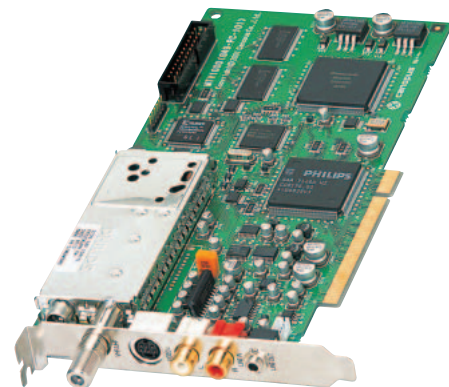
キャプチャー / 番組視聴ソフト「MEDIA CRUISE」は、ほかの製品に添付されているソフトに比べて明らかに「ツウ」を意識しているインターフェイスであるにもかかわらず、初心者にも使いやすい。

なお、試用時点ではEPG予約やiモードから

の予約には対応していないため、番組表連動の録画予約ができなかった。しかし、iモードを含むEPG予約については、今後ソフトウェアのバージョンアップで対応する予定だ。



MTV1000に付属のMEDIA CRUISEは、初心者でも使いやすいツウ好みのインターフェイス。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアム III 866MHz以上
必要スロット	: PCI
受信可能チャンネル	: 1 - 12 (VHF), 13 - 62 (UHF), C13 - C63 (CATV)
添付ソフト	: MEDIACRUISE
価格	: 49,800円
問い合わせ先	: カノープス(株) 078-992-6830
	www.canopus.co.jp/catalog/mtv1000/

AGP接続のグラフィックカード一体型

Matrox **Marvel G450 eTV**

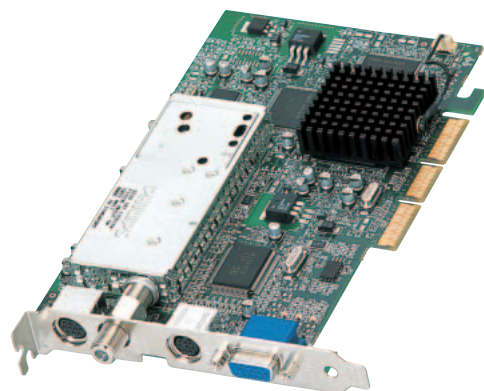
テレビキャプチャー機能とグラフィックカードが一体化した製品だ。AGPスロットに挿入するため、AGPスロットがないパソコンでは利用できない。

テレビ放送の画質はよく、動きの激しいシーンでもコマ落ちが少ない。しかし、録画時は画質低下がやや目立った。動作は軽快で、使い勝手もよいが、EPG予約機能がない点と、添付ソフトが英語版だという点が気になる。グラフィックカードの性能もチェックしたい。ビジネスユースでは十分だが、3Dグラフィックソフトやゲームソフトで利用する場合は、必ずしも高速とは言えない。そのような場合は、テレビキャプチャーユニットとグラ

フィックカードは個別に選んだ方がいい。パソコン上で別の作業をしながら、BGV(back ground video)的にテレビ番組をチェックしたい場合に向いている製品だと言える。



MarvelG450eTVには、キャプチャー / 録画ソフトとしてMatrox PC VCRが付属する。



対応OS	: ウィンドウズ 98/98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアム III 600MHz以上
必要スロット	: AGP
受信可能チャンネル	: 1 - 12 (VHF), 13 - 62 (UHF)
添付ソフト	: Matrox PC VCR
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: インフォマジック(株) 03-05338-2701
	www.infomagic.co.jp/main/products/



グラフィックカード一体型の汎用タイプ

ATI All-in-Wonder RADEON

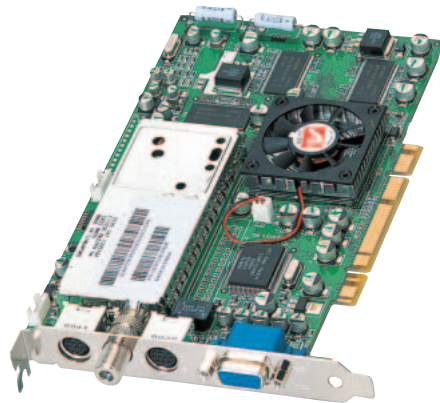
テレビキャプチャー機能とグラフィックカードが一体化した製品だが、PCIスロットに挿入するタイプであるためチップセットを問わず、一般的なパソコンで利用できる。もちろん、インテルのi810チップセットのマザーボードを採用したパソコンでも利用できる。テレビ映像の品質は非常によい。録画時およびタイムシフト時の画質低下も、コマ落ちが若干目立つ程度だ。

ただし、添付されているソフトの使い勝手については、肯定的な評価ができない。具体的には、録画予約の日時設定メニューが解像度などの設定と同じ項目にあるなど、実際に利用していて使いにくかった。ソフトの操作に慣れるまで、しばらく時間がかかるだろう。また、iモードを含むEPG予約機能もサポートされていない。ハードウェアの性能がよいだけに、ソフトの仕上がりがいま

ひとつであることが惜しまれる。i810チップセット搭載パソコンのユーザーが、グラフィック性能のアップとテレビキャプチャー機能を同時に求める場合には、価格のな面でもおすすめできる製品だ。



画面インターフェイスはシンプルだが、設定メニューがややわかりにくいのが残念。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアム III
必要スロット	: AGP
受信可能チャンネル	: 1 - 12(VHF)、13 - 62(UHF)、C13 - C63(CATV)
添付ソフト	: ATI Multimedia Center
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: ATIテクノロジーズジャパン(株) 03-5275-2786

www.ati.com/jp/pages/products/pc/aiw_radeon/

高速なパソコンで本領を発揮

AOpen VA1000

テレビ放送の映像品質は、精細さやコマ落ちなどに問題はないが、ノイズが目立った。録画した画像はややコマ落ちが増えるが、全体的な画質の劣化は目立たないレベルと言える。

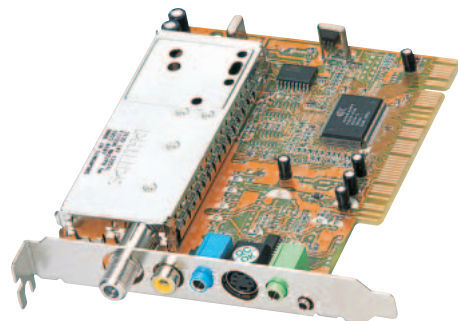
添付ソフトには、使いやすく、比較的シェアも高い「WinDVR」を採用している。録画予約も非常に簡単で、EPG予約機能をサポートするが、iモードからの予約はできない。操作が簡単なワイヤレスリモコンが付属しており、全般的な使い勝手はよい。ただし、ほかの製品と比べると、レスポンスの悪さが気になった。

試用はセレロン 733MHzのパソコンを使ったが、起動時をはじめ、全般的な操作をするうえで、待たされることが多かった。そのような点を考慮すると、十分なスペックを持ったパソコンを用意する必要があるだろう。

なお、本製品の後継機種としてVA1000 Plusが登場する。VA1000との大きな違いは、信号入力時のノイズが大幅に低減したこと、ステレオ音声の入力に対応したこと、iモードやJスカイによる録画予約に対応したことなどだ。



VA1000に付属するキャプチャー/録画ソフトは、単体でも販売されているWinDVRだ。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアム III 850MHz以上
必要スロット	: PCI
受信可能チャンネル	: 1 - 12(VHF)、13 - 62(UHF)、C13 - C63(CATV)
添付ソフト	: WinDVR
価格	: 9,800円
問い合わせ先	: Aopen Japan(048-290-1819)

www.aopen.co.jp/products/video/va1000.htm



ロースペックのパソコンでも軽快に動作

NOVAC Prime TV/Si

本製品のテレビ放送受信や録画映像の品質は、決して高いとは言えない。しかしその反面、全般的な動作が非常に軽快でストレスを感じさせないのが特徴だ。タイムシフト時の画質劣化が少ないのもうれしい。

この製品は、その「軽快な動作」ゆえ、ハードウェアにそれほど高度なスペックを要求しないのがよいところだ。テレビ放送を視聴するだけ(録画しない)ならば、CPUは推奨スペックを大幅に下回るペンティアム133MHzで十分だ。1世代、2世代前の格段にロースペックなパソコンでも実用に堪えるのは、ほかの製品に対するアドバンテージと言える。

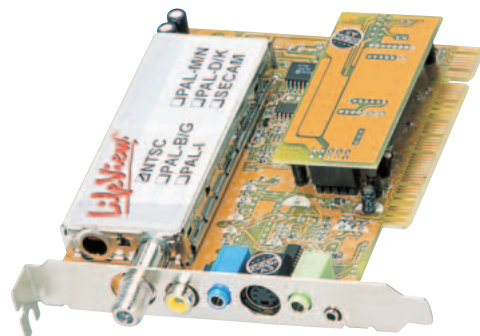
ソフトウェアの使い勝手も非常によい。iモードからの予約はできないが、EPG予約機能もサポートされている。

映像の品質などを追求したいユーザーには

物足りないが、現在ロースペックのパソコンを利用しており、「パソコン上で気軽にテレビ放送も楽しみたい」というユーザーにはピッタリだ。「こういう製品もアリだな」と思わせる、個性を持った魅力的な製品だ。



軽快な動作をサポートするキャプチャー/録画ソフトは、honestech MPEG DVRを採用。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: セレロン 800MHz以上、ペンティアム III 800MHz以上
必要スロット	: PCI
受信可能チャンネル	: 1 - 12 (VHF), 13 - 62 (UHF) C13 - C63 (CATV)
添付ソフト	: honestech MPEG DVR
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: (株)ノバック(03-3817-8711)
▶▶▶ www.novac.co.jp/hard/primetv/	

ダントツの操作性と付加サービスの充実

NEC SmartVision PRO2 EX

テレビ放送、録画の映像ともに、このタイプの製品のなかでは平均的な品質だが、タイムシフト時の映像品質の劣化が少ないのが特徴だ。

タイムシフト機能は、どの製品もタイムシフト時に動作が重くなる傾向がある。しかし、本製品では、「セミライブモード(この場合、一時停止や追っかけ再生はできない)にするとパソコンの負担が軽くなり、動作が軽快になる。このように用途に応じたモードが用意されている点は評価できる。

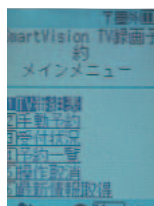
テレビ放送の視聴などにおけるソフトの使用感にはやや癖があると感じるが、慣れれば問題はないだろう。一方、EPG予約がサポートされており、予約操作も非常に簡単だった。この点の使い勝手に関しては今回紹介した製品中でナンバーワンと言える。

iモードからの録画予約も可能だが、

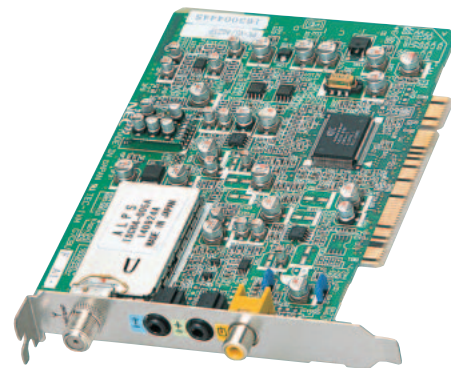
BIGLOBEの会員(「るるんコース」と法人会員は不可)しか利用できない。



キャプチャー/録画ソフトは、SmartVision/TV。EPG予約など操作がわかりやすく使いやすい。



BIGLOBEの会員なら、iモード録画予約が行える。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアム III 600MHz以上
必要スロット	: PCI
受信可能チャンネル	: 1 - 12 (VHF), 13 - 62 (UHF)
添付ソフト	: SmartVision/TV
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: 日本電気(株)(0120-95-0001)
▶▶▶ www.amuseplus.com/smartvision/	



使い勝手がよく、iモード予約にも対応

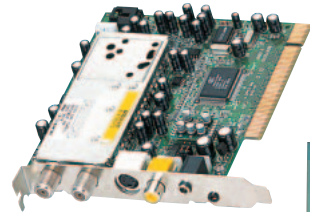
アイ・オー・データ機器 **GV-BCTV5/PCI**

価格と画質、使い勝手の良さが高いレベルでバランスがとれた製品だ。TV放送の視聴ではややコマ落ちがあるが、問題なく楽しめる。ただ、録画時の映像の劣化が多少気になった。

ソフトを含めた使い勝手はよく、特に録画予約は、初めて使うユーザーでも直感的に操作できるだろう。無料でiモードによる録画予約ができるのも大きな特徴だ。メーカーから予約用のIDを発行してもらえば、iモードの「iテレビ」から簡単に録画予約ができる。



GV-BCTV5/Pに付属するmAgic TV。非常にシンプルな画面は操作も簡単だ。



「iテレビ」にアクセスして録画予約が可能だ。

対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: セレロン 800MHz以上
必要スロット	: PCI
受信可能チャンネル	: 1 ~ 12 (VHF)、13 ~ 62 (UHF)、C13 ~ C63 (CATV)
添付ソフト	: mAgic TV
価格	: 19,800円
問い合わせ先	: (株)アイ・オー・データ機器(03-4288-1039)

www.iodata.co.jp/products/video/zooi/gvbctv5/

価格と機能のバランスがグッド

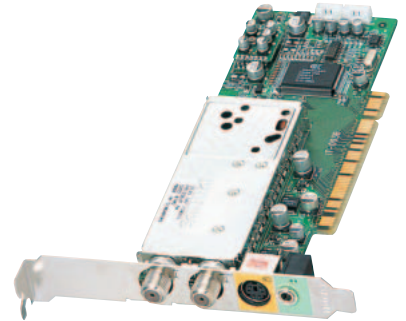
カノープス **WIN DVR-PCI(NE)**

同社の「MTV1000」に比べると映像の品質では見劣りするが、それでもこのタイプの製品のなかでは平均的なレベルだ。しかし、ほかの製品同様、タイムシフトを利用したときの映像品質の低下が目立つ。

起動に時間がかかる点が気になるが、一度起動してしまえば、その後はかなり軽快に動作する。価格もこのクラスとしては平均的であるし、EPG予約にも対応する(iモード予約は不可)。これもバランスのとれた製品だ。



WIN DVR-PCIに付属するソフトは、同社の上位製品MTV1000と同じWinDVR。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアM 1GHz以上
必要スロット	: PCI
受信可能チャンネル	: 1 ~ 12 (VHF)、13 ~ 62 (UHF)、C13 ~ C63 (CATV)
添付ソフト	: WinDVR
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: カノープス(株) 078-992-6830

www.canopus.co.jp/catalog/wincinema/

テレビ映像を受信してパソコンに録画できる多機能液晶モニター

シャープ **LL-M1550A**

本製品は、テレビキャプチャー機能以外に、MPEG-1/2のエンコーダーやPCカードリーダー、USBハブなど、パソコンの代わりにインターフェイスを内蔵したような多機能モニターだ。高画質液晶モニター(解像度1,024×768)としての利用はもちろん、本機で受信したテレビ映像をがUSB経由でパソコンのハードディスクに録画することなどできる。

テレビとして利用した場合は高画質だが、USBでパソコンに接続した場合の映像の品質は、カードタイプのテレビキャプチャーユニットと同等程度だ。ただし、録画した映像の画質の劣化がほとんどない点は評価に値する。

実売価格が10万円を切っているのに、液晶モニターとテレビキャプチャーユニットを個別に購入するよりお得な製品だ。



PixelStation TVは、アクア調のインターフェイスデザインで見た目にもわかりやすい。

対応OS	: ウィンドウズ 98/98SE/Me
CPU	: ペンティアM III 450MHz以上
必要ポート	: USB
受信可能チャンネル	: 1 ~ 12 (VHF)、13 ~ 62 (UHF)、C13 ~ C63 (CATV)
添付ソフト	: PixelStation TV
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: シャープ(株) (043-299-8021)

www.sharp.co.jp/products/llm1550a/





USB接続ながら画質も追求

NEC SmartVision PRO2 for USB

USB接続タイプのなかでも比較的高画質を達成しているのがこの製品だ。要求スペックはペンティアムII 450MHz以上だが、実際には現時点でも最高クラスのスペックを持つパソコンでないと軽快な動作は望めないだろう。

しかし、接続はUSBとACアダプター、アンテナをつなぐだけ(ビデオ等の画像を録画する際は、ビデオのケーブルも接続する)の簡単さで、iモードを含むEPG予約にも対応しているなど、魅力的な部分も数多い。



NECのテレビキャプチャーユニットでは、録画操作の分がわりやすいSmartVision/TVが付属する。



対応OS	: ウィンドウズ 98 / 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアムII 450MHz以上
必要ポート	: USB
受信可能チャンネル	: 1 - 12(VHF), 13 - 62(UHF), C13 - C63(CATV)
添付ソフト	: SmartVision/TV
価格	: オープン価格
問い合わせ先	: 日本電気(株) X 0120-95-0001
	www.amuseplus.com/smartvision/

ソフトの使いやすさが群を抜く

アイ・オー・データ機器 USB-MPG2TV

NECの「SmartVision PRO2 for USB」と並んで、この分野での定番とも言える製品だ。やはりパソコン内部に設置するカードタイプより、映像の品質や操作の軽快さはいまひとつだ。また今回の試用ではコマ落ちが目立った。動作が保証されているCPUのスペックはペンティアムII 350MHz以上だが、実際にはこの倍以上のクロック数を望みたい。添付ソフトは群を抜いて使いやすく、iモードを含むEPG録画にも対応している。



mAgic TV2は、ライブ放送、タイムシフトなどがボタンで簡単に呼び出せる。



対応OS	: ウィンドウズ 98/98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアムII 350MHz以上
必要ポート	: USB
受信可能チャンネル	: 1 - 12(VHF), 13 - 62(UHF), C13 - C63(CATV)
添付ソフト	: mAgic TV2
価格	: 32,000円
問い合わせ先	: (株)アイ・オー・データ機器(03-4288-1039)
	www.iodata.co.jp/feature/video/usbmpgz/

使いやすさと軽快さがウリ

ジャストシステム MegaVi TV2

映像品質の精細さではほかの製品に一步譲るが、全体的な動作が非常に軽く、コマ落ちも許せる程度だ。また、起動やチャンネル切り替えのスムーズさ、別のソフトを利用しながら番組を視聴したときの動作が軽快で、USB接続タイプとは信じがたい。電力もUSBのバスパワーで供給され、接続も手軽だ。iモードを除くEPG予約に対応する。本格的なタイムシフト機能はないが、逆にシンプルで誰でも使える製品に仕上がっている。



独特なデザインのMegaVi VRは、機能ごとにボタンがまとめられていてシンプルだ。



対応OS	: ウィンドウズ 98SE/Me/2000
CPU	: ペンティアムIII 500MHz以上
必要ポート	: USB
受信可能チャンネル	: 1 - 12(VHF), 13 - 62(UHF)
添付ソフト	: MegaVi VR
価格	: 24,800円
問い合わせ先	: (株)ジャストシステム(03-5412-3939)
	www.justsystem.co.jp/megavi/tv2/



製品名	カード型					
	MTV1000	Marvel 6450 eTV	ALL-IN-WONDER RADEON	VA1000	Prime TV/SI	SmartVisionPRO2 EX
発売元	カノプス(株)	インフォマジック	ATIテクノロジーシステム(株)	AOpen Japan	(株)ノバック	日本電気(株)
問い合わせ先	078-992-6830 www.canopus.co.jp/catalog/ mtv000/mtv000_index.htm	03-5338-2701 www.infomagic.co.jp/main/ products/	03-5275-2786 www.ati.com/jp/pages/ products/pc/aiw_radeon/	048-290-1819 www.aopen.co.jp/products/ video/va1000.htm	03-3817-8711 www.novac.co.jp/hard/ primetv/si.htm	0120-95-0001 www.amuseplus.com/ smartvision/
価格	49,800円	オープン価格	オープン価格	9,800円	オープン価格	オープン価格
OS	Windows 98SE/Me/2000	Windows 98/98SE/Me/2000	Windows 98SE/Me/2000	Windows 98SE/Me/2000	Windows 98SE/Me/2000	Windows 98SE/Me/2000
CPU	Pentium III 866MHz以上	Pentium III 600MHz以上	Pentium III	Pentium III 850MHz以上	Pentium 800MHz以上、 Celeron 800MHz	Pentium 600MHz以上、
メモリー	128MB以上	128Mバイト以上	128Mバイト以上	128Mバイト以上	128Mバイト以上	128Mバイト以上
ハードディスク仕様	Ultra ATA66	Ultra ATA66	Ultra ATA66	Ultra ATA66	7200回転/分 以上	Ultra ATA 33以上
ハードディスク容量	20Mバイト(インストール時)	500Mバイト	100Mバイト以上	100Mバイト以上	30MB(インストール用)	300Mバイト以上
グラフィック環境	800×600ドット以上、 ハイカラー以上、 DirectX6.0以上に対応	グラフィックボード一体型	グラフィックボード一体型	800×600ドット以上、 ハイカラー以上、 DirectX6.0以上に対応	DirectX6.1以上	VRAM8Mバイト以上、 DirectX6.0以上
サウンド入力機能	必要(PCIで接続で、 アナログライン入力)	必要	必要	必要	16ビット、ステレオが必要	SoundBlaster相当
テレビ受信方式	NTSC	NTSC、PAL	NTSC	NTSC	NTSC	NTSC
受信チャンネル	1-12(VHF)、13-62(UHF)、 C13-C63(CATV)	1-12(VHF)、13-62(UHF)	1-12(VHF)、13-62(UHF)、 C13-C63(CATV)	1-12(VHF)、13-62(UHF)、 C13-C63(CATV)	1-12(VHF)、13-62(UHF)、 C13-C63(CATV)	1-12(VHF)、13-62(UHF)
入力映像調整機能	-	-	-	-	-	○
ステレオ(音声多重)放送対応	○	○	○	-	○	○
ビデオ入力	Sビデオ(付属ケーブルで コンポジットビデオ入力可)	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	コンポジットビデオ
ビデオ出力	-	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	-	-	-
オーディオ入力	ステレオ、RCAピンジャック	ステレオRCAピンジャック	ミニジャック	ミニジャック	ステレオミニジャック	ステレオミニジャック
オーディオ出力	ステレオミニジャック	ステレオミニジャック	ステレオミニジャック	ミニジャック	ステレオミニジャック	ステレオミニジャック
動画キャプチャ能力(最大サイズ)	720×480	352×480	720×480	640×480	640×480	640×480
MPEG形式	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2
MPEGエンコード方法	ハードウェア	ソフトウェア	ソフトウェア	ソフトウェア	ソフトウェア	ソフトウェア
動画キャプチャ・録画ソフト	MEDIACRUISE	Matrox PC VCR	ATI Multimedia Center	WinDVR	honestech MPEG DVR	SmartVision/TV
タイムシフト機能	-	-	-	○	○	○
EPG対応	(近日常対応予定)	-	-	○	○	○
EPG対応(IMODE番組予約)	-	-	-	-	-	○
ADAMS EPG対応(地上波データ放送番組予約)	-	-	-	-	-	○
マルチチャンネル機能	○	-	○	-	-	-
ラジオ受信・録音機能	-	-	-	-	-	-
接続方法	PCI	AGP	AGP	PCI	PCI	PCI
ビデオ編集ソフト	-	Ulead VideoStudio 4.0	Ulead VideoStudio 4.0	Ulead VideoStudio 4.0SE	honestech MPEG Editor 2.0	Ulead VideoStudio 5 SE Basic (MPEGプラグイン付き)
リモコン付属	-	-	-	-	-	(オプションで購入可)
サイズ(mm)カードタイプはW×H、 ボックスタイプはW×H×D	212×107	172×108	-	96.6×166	98×121	154×106.7
重量(g)	-	206	-	-	147	-
その他	-	Matrox Software DVD Player、 Ulead Photo Explorer 6.0付属	ハードウェアDVD再生可	PhotoExpress 3.0SE付属	honestech MPEG Encoder付属	SmartGallery 2.2、 字幕ビューア等付属

Product Showcase

パソコン不要のテレビチューナー

バーテックスリンクス Win Fast TV Pro



コマ落ちに関してはパソコン接続のテレビキャプチャユニットと同等だが、精細さではやや劣る印象を受けた。本体についているボタン類が少ないため、操作性にややクセがあるが、付属のリモコンを使えば非常に簡単に使いこなせる。

価格：11,000円
問い合わせ先：(株)バーテックスリンクス(03-5259-5110)
www.vertexlink.co.jp

パソコンのモニターをテレビのモニターとして利用したい場合は、単体のテレビチューナーというチョイスもある。

これらの製品は、テレビ受信のためのチューナー機能とパソコン用のモニターにテレビの映像を出力する機能のみを持つ。パソコンは不要なので、モニターを接続するだけでテレビを楽しめる簡易さが特徴だ。パソコンとモニターの間にこの機器を接続して、パソコン表示とテレビ表示を切り替



GV-BCTV5/PCI	WINDVR-PCI(NE)	ユニット(ボックス型)			チューナー付きディスプレイ	モニター接続用テレビチューナー	
		SmartVisionPRO2for USB	USB-MPEG2TV	MegaVi TV2	LL7M1550A	TVチューナーボックス	Win Fast TV Pro
(株)アイ・オー・データ機器 03-4288-1039 www.iodata.co.jp/products/video/2001/gvbctv5/	カープス(株) 078-992-6830 www.canopus.co.jp/catalog/wincinema/windvr-ne_index.htm	日本電気(株) 0120-95-0001 www.amuseplus.com/smartvision/	(株)アイ・オー・データ機器 03-4288-1039 www.iodata.co.jp/feature/video/usbmpg2/index.htm	(株)ジャストシステム 03-5412-3939 www.justsystem.co.jp/megavi/tv2/	シャープ(株) 043-299-8021 www.sharp.co.jp/products/llm1550a/index.html	(株)トライコーポレーション 03-3831-7121 www.justy.co.jp	(株)バーテックスリンクス 03-5259-5110 www.vertextlink.co.jp/
19,800円	オープン価格	オープン価格	32,000円	24,800円	オープン価格	19,800円	11,000円
Windows 98SE/Me/2000 Celeron 800MHz以上 Pentium III 800MHz以上	Windows 98SE/Me/2000 Pentium 1GHz以上	Windows 98/98SE/Me/2000 Pentium II 450MHz以上 Celeron 566MHz以上	Windows 98/98SE/Me/2000 Celeron366MHz以上、 PentiumIII350MHz以上	Windows 98SE/Me/2000 Pentiu III500MHz以上	Windows 98/98SE/Me -	-	-
128MB以上	128Mバイト以上	128Mバイト以上	64Mバイト以上	128Mバイト以上	64Mバイト以上	-	-
-	Ultra ATA 66以上	Ultra ATA 33以上	-	-	-	-	-
500Mバイト以上	20MB(インストール時)	300Mバイト以上	500MB以上(録画保存は別)	120Mバイト以上	-	-	-
800 x 600ドット以上、 ハイカラー以上、 DirectX6.0以上に対応	800 x 600ドット以上、 ハイカラー以上、 DirectX6.0以上に対応	VRAM4Mバイト以上、 DirectX6.0以上	VRAM4Mバイト以上、 Direct X6.0以上	DirectX7以上(98SE/2000) DirectX8以上(Me)	-	水平周波数31.5KHz以上 垂直周波数60Hz以上	-
SoundBlaster相当	必要(PCIで接続で、 アナログライン入力を持つもの)	SoundBlaster相当	必要	必要	-	-	-
NTSC	NTSC	NTSC	NTSC	NTSC	NTSC	NTSC	NTSC
1-12(VHF) 13-62(UHF) C13-C63(CATV)	1-12(VHF) 13-62(UHF) C13-C63(CATV)	1-12(VHF) 13-62(UHF) C13-C63(CATV)	1-12(VHF) 13-62(UHF) C13-C63(CATV)	1-12(VHF) 13-62(UHF)	1-12(VHF) 13-62(UHF) C13-C63(CATV)	1-12(VHF) 13-62(UHF)	1-12(VHF) 13-62(UHF)
○	○	○	-	-	○	○	○
○	○	○	-	-	○	○	○
Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	Sビデオ、コンポジットビデオ	D1、S1、コンポジット	Sビデオ、コンポジット	Sビデオ、コンポジット
-	-	-	-	-	-	コンポジット	-
内部CD入力	ステレオピンジャック	コンポジット入力	ステレオミニジャック	ステレオミニジャック	ステレオライン	ステレオライン	ステレオライン
ステレオミニジャック(外部用) ライン出力(内部用)	ステレオミニジャック	-	-	-	ステレオミニジャック	ステレオライン ステレオミニジャック	ステレオミニジャック
720 x 480	720 x 480	720 x 480	720 x 480	352 x 288	720 x 480	-	-
MPEG-1/MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-2	MPEG-1/MPEG-2	MPEG-1/MPE-2	-	-
ソフトウェア	ソフトウェア	ハードウェア	ハードウェア	ソフトウェア	ハードウェア	-	-
mMagic TV	WinDVR	SmartVision/TV	mMagic TV2	MegaVi VR	PixelStation TV	-	-
○	○	○	○	○	○	-	-
○	-	-	○	-	-	-	-
○	-	○	○	-	-	-	-
○	-	-	○	-	-	-	-
FMのみ	FM	-	-	-	-	-	-
PCI	PCI	USB	USB	USB	USB	-	-
Ulead Video Studio 5 SE	-	Ulead VideoStudio 5 SE Basic (MPEGプラグイン付き)	Ulead VideoStudio 4 MPEG2 SE	-	PixeDV/EX	-	-
119.91 x 106.68	168 x 65	60 x 145 x 200	88.1 x 173.2 x 132.0	77 x 145 x 36.5	367 x 360 x 150	145 x 45 x 175	117 x 116 x 59
151	-	850	本体360g、ACアダプタ110g	190	本体4600、拡張ボックス1200	500	-
Ulead PhotoImpact 6 SE付属	-	WinDVD2000、 Ulead PhotoImpact 5 SE付属	WinDVD2000、 Ulead PhotoImpact 5 SE付属	MegaVi Timer MegaVi Explorer等付属	-	本体スピーカーで オーディオ出力可	-

えて使用することになる。

テレビ放送以外にも、テレビゲームやDVDプレーヤーなどを接続しての再生も可能だ。通常のテレビに比べて「硬い」印象の画面になりがちだが、精細さも十分だしコマ落ちもなく、通常のTVと比べてもまったく見劣りしない。

パソコンで作業しながらテレビを視聴することはできないが、モニターでテレビを見るという割り切った使い方に適している。

Justy TVチューナーボックス

精細さ、コマ落ち共に通常のテレビに見劣りしない。本体が大きくガッチリしているのは好みが見られるところだが、ボタン類も使いやすく、操作性はよい。しかし、録画機能のある製品と値段がほぼ同じなので、機能を割り切って使うならおすすめと言える。

価格：25,000円
問い合わせ先：(株)トライコーポレーション(03-3831-7121)
www.justy.co.jp





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp